

## 研究科教授会議事要旨

日 時 平成26年10月23日(木) 14時02分～16時23分

場 所 ユメンスホール

出 席 者 中道研究科長

前迫、苧阪、檜垣、森川、赤井、篠原、釘原、佐藤、臼井、権藤、青野、日野林、金澤、志村、足立、熊倉、八十島、中野、山田、友枝、川端、吉川、牟田、ノース、山中、斉藤、稲場、辻、中山、シュベントカー、栗本、村上、森田、白川、藤川、三宮、藤岡、老松、井村、岡部、西森、野坂、近藤、小野田、木村、志水、中澤、園山、高田、中村(安)、澤村、千葉、神前、岡田、小林、三好、河森、ズグスタ、鈴木、福岡の各教員  
(計61名)

欠 席 者 渥美、石井、バイサウス、中川、野村、平沢、藤目、大谷の各教員(計8名)

海外渡航者等 山本(ベ)、佐々木教員(計2名)

[議事に先立ち、前回(9月25日)の議事要旨を確認した。]

### 議 事

(協議事項)

1. 研究科委員会の議決事項について

本日開催の研究科委員会の議決事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 社会環境学講座専任講師選考について(第2回)

前回から継続審議の同専任講師候補者について、投票の結果、専任講師採用を承認した。なお採用年月日は研究科長一任とした。

3. インターナショナルカレッジ人間科学コース特任講師の選考について

資料1に基づき、同特任講師候補者の選考経過、経歴、研究業績及び模擬授業の様子等について説明があり、投票の結果、特任講師採用を承認した。なお採用年月日は研究科長一任とした。

4. 基礎人間科学講座教授選考委員会の設置について

審議の結果、同選考委員会を設置することについて、承認した。

5. その他

(1) 人間科学研究科改革促進WG報告書について

別綴じの資料を基に、改革促進WG設置の経緯及び同WGの検討状況について説明があり、審議の結果、各学系で議論して意見を運営会議に持ち寄り、議論することとした。

また、今後の検討の進め方として、1専攻に改組する場合は設置審査を受ける必要があり、大学本部や文部科学省との調整により改組計画が進展することも考えられることから、執行部及び運営会議において意見交換しつつ、関係教員とも相談して検討を進め、

可能な限り、研究科教授会で報告していくこととした。

## (2) 学校教育法等の一部改正について

資料2を基に、学校教育法等の一部改正に伴い大阪大学教授会通則の教授会審議事項の整備案が提示されたこと、国立大学法人法等の一部改正に伴い大阪大学部局長選考規程案が提示されたこと、これらの案に対する教授会の意見を11月7日までに提出する必要があること及び部局長会議で総長からは大学のガバナンスが成り立たないことは行わない旨の発言があったことについて説明があり、検討の結果、出された意見を踏まえて執行部でまとめた上、回答することとした。

### (報告事項)

#### 1. 「世界適塾入試(仮称)」(AO入試)について

後期試験日程継続の要望を理事に伝えたが、単に学力が高いだけではなく意欲のある学生をAO入試で選考して欲しいこと、達成度テストを先取りしてAO入試を充実させる方が戦略的であること及びAO入試の方法について部局で柔軟に行ってもよいとの意見であったとの報告があった。また、「世界適塾入試(仮称)」の選抜要項案について、再度、検討依頼があったので、締切の関係上、入学試験委員会及び運営会議で検討して回答する旨、説明があった。

#### 2. 平成25年度に係る部局達成状況評価書(案)について

資料3を基に、本研究科の達成状況評価結果について、良い評価ではあるが、特記事項に毎年同じような事項が取り上げられているなど、問題点もあることを理解願いたい旨、説明があった。

#### 3. 大阪大学未来基金の事業として「人間科学部・人間科学研究科教育研究推進事業」の設置について

大阪大学未来基金が行っている寄付事業の中で、本研究科への寄付も併せて募ることができるよう「人間科学部・人間科学研究科教育研究推進事業」を設置したこと、実際の運営は基金室で行うこと、寄付金額の5パーセントを基金室に支払うが残りの95パーセントを本研究科の教育研究に使用できることについて説明があった。

#### 4. 同窓会について

同窓会組織を強化するために、各部局に卒業生担当者の設置依頼があり、教員及び事務職員各1名に依頼した旨、報告があった。なお、人間科学研究科の同窓会機能を高めるため、学生支援室において本研究科の卒業生に向けたFaceBookを立ち上げた旨、報告があり、今後の情報発信や意見収集について、協力依頼があった。

#### 5. 科学研究費補助金間接経費の財源配分について

現総長になってから、間接経費の配分が本部40%、部局60%になったこと、本研究科においては、部局配分のうち3分の1が本人に、3分の2が人間科学研究科に配分することが決まっていること、結局、間接経費全体の20%を本人に配分すること及び相当額を運営費交付金に振り替えて配分したことについて、報告があった。

なお、科研の間接経費は使い勝手がよいので配慮して欲しい旨の意見があった。

## 6. 各種委員会等報告について

各委員長・委員等から、20件の報告があった。

### [学内関係]

- (1) 国際教育交流センター教授会 (9.26)
- (2) 計画・評価委員会 (10.2)
- (3) 学生生活委員会 (10.8)
- (4) 全学教育推進機構会議 (10.10)
- (5) 吹田地区部局長会議 (10.15)
- (6) 教育研究評議会 (10.15)
- (7) 部局長会議 (10.15)

資料4に基づき、年俸制の適用対象・時期について報告があった。

- (8) コミュニケーションデザイン・センター運営協議会 (10.15)
- (9) 教育改革推進会議 (10.16)
- (10) 図書館委員会 (10.17)
- (11) 教育課程委員会 (10.21)
- (12) 吹田地区事務長会 (10.14)
- (13) 事務協議会 (10.17)
- (14) その他

### [部内関係]

- (1) 教育国際化推進委員会 (9.25)
- (2) 大学院入試合格者判定会議 (9.30)
- (3) 第3年次編入学試験運営委員会 (10.2)
- (4) 教務委員会 (9.29; 10.16)
- (5) 運営会議 (10.8; 10.22)
- (6) 各室報告

#### ○研究推進室

資料5に基づき、「国際性アンケート」の結果について中間報告があった。

#### ○図書館

大学院を受験する学生のための図書コーナーに配置する図書を推薦願いたいこと、セメスター図書のスペースに余裕があるので演習や実験実習に使用する教材を図書室に集めて共有願いたいこと及び豊中の総合図書館に電動書庫が設置されることに伴い同図書館に返却したい図書の調査を行うことについて、依頼があった。

## 7. 受託研究の受け入れについて

資料6に基づき、1件の受け入れについて報告があった。

## 8. 奨学寄付金の受け入れについて

資料7に基づき、3件の受け入れについて報告があった。

## 9. 教員の海外渡航について

資料8に基づき、計10件の報告があった。

## 10. 事務組織の改組について

資料9に基づき、平成27年4月からの事務組織について、教務業務の一本化を図るため、大学院係長を廃止し、教務係に主任一人を加えて、教務係において学部と大学院の教

務業務を行う計画である旨、報告があった。

1 1. その他

(1) 教員基礎データ更新についてのお願い

大学本部からデータ更新について依頼が来ているので、未更新の教員におかれては、更新願いたい旨、依頼があった。

以上